

**剣道** ● 6月21日 / 糸田町民体育館

- 一般男子の部【2位】福智町
- 個人戦一般男子初段～三段の部【優勝】和田祐一
- 一般男子四段～五段の部【3位】秦伸輔
- 一般男子六段～七段の部【優勝】中山正和【3位】田中浩二



**第48回 田川郡民体育大会 結果**

主催 / 田川郡社会体育振興協会

# 目標に向け 心一つに

「スポーツフェスタたがわ」が郡内で開かれ、鍛錬を積んだ福智勢が各種目で活躍しました。的や狙い、ゴールや勝利など、目標を見定め、一心にプレーした福智のアスリートたち…。ここで、その大会結果をお知らせします。

**ソフトボール** ● 6月7日・14日 / 糸田町民グラウンド

- 一般男子の部【3位】福智町(赤池)
- 壮実年の部【3位】福智町(赤池)



**硬式庭球** ● 5月24日 / 川崎町総合運動公園テニスコート

- 総合の部【優勝】福智町



**卓球** ● 6月7日 / 川崎町中央体育館

- 団体の部【優勝】福智町
- 個人戦男子の部【2位】日高景年
- 個人戦女子の部【優勝】名嶋恵子【2位】中生加千恵



**弓道** ● 6月28日 / 香春町総合運動公園弓道場

- 総合の部【優勝】福智町
- 男子団体の部【優勝】福智町
- 女子団体の部【2位】福智町



**バドミントン** ● 6月7日 / 福智町金田体育館

- 総合の部【優勝】福智町
- 一般男子の部【優勝】福智町
- 壮年男子の部【優勝】福智町
- 一般女子の部【2位】福智町

**バスケットボール** ● 6月14日 / 香春町体育センター

- 女子の部【2位】福智町



**福智の風**

▶ まちを守るため活動している人はたくさんいます。今回はそのほんの一部しか紹介できませんでしたが、当然1人よりも2人、2人よりも3人。地域が協力すれば、いかに大きな力になるかを改めて感じました。▶ 「もし何かあっても、この地区だけはわたしたちで必ず守り抜こうね」…それほどの頼もしさで、愛する地域のために活動しているかたがいました。「格好つけや名前だけの組織では意味がない」というその人は、いざという時に本当に助け合えるつながりを、地域で築いていました。このような意識が犯罪に強いまちをつくる基本なのだと思います。▶ 急な取材にもかかわらず快くご協力くださったみなさん、本当にありがとうございました。(日吉)

写真が語る 番外編 写真館

今世紀最大の天体ショー  
撮影者 ● 古野さん(ふれあい塾天文部)  
撮影日 ● 平成21年7月22日10:48

地球と月と太陽が一直線に並び、月が太陽を隠す「日食」。日本では46年ぶりの皆既日食として話題となり、福智町でも太陽の最大9割が隠れる「部分日食」が観測できました。

昔の写真を探しています！  
企画課広報・広聴係  
☎ 22-7766

# 四季の歌

心映の投句  
俳句・短歌教室の詠歌紹介

はな・ほのぼの句会

池田一步選

舟遊び利根の大河の空青し  
今年にも神に生かさず蝉涼し  
時も亦景を動かし梅雨の庭  
時鳥この道一つ夢を追ひ  
梅雨晴の空の心に生さるべし  
仙人掌の真白き花や寿  
人生の思ひ出さず星祭  
按摩機に体委ねて昼寝かな  
病み抜きし夫に清しき青田風

柴田ヒサエ  
持丸テル子  
永末 公恵  
宇野美奈子  
大堀まさゑ  
熊谷カツミ  
本島真知子  
桑野 園女  
池田 駒女

福智町金田公民館俳句教室

岩井鬼童選

羅漢像緑雨びかりの頭を並べ  
十葉も野良着も干して谷戸の留守  
裸婦像の海を望みし日焼かな  
姫沙羅を恋ふて英彦山詣でかな  
紅ほのと英彦山沙羅は天の花  
甚平や句一筋に気骨の師  
木下闇無縁仏の深眠り  
説法の笑ひと涙沙羅の花  
湖の嵩不気味にふくれ男梅雨  
浴衣着て身八つ口より風貫ふ

日比生利子  
松岡 蒿枝  
建部三由紀  
永尾喜美江  
長副美恵子  
迫田 昌子  
今井三千代  
吉村ヨシ子  
小川 雪  
花石かほる

方城句会

池田一步選

朝顔の蔓のさがしてゐる虚空  
忍冬唐津焼には叶ふなり  
空梅雨やダムの底より村の跡  
隠し事性に合はざり未央柳  
水やりが日課となりし夏に入る  
さ緑のしなやかな反り子蟬螂  
朝まだき夏越のみこの鈴の音  
空梅雨や雨は知らぬと夜の星  
揺れ動く天下摂り劇今夏夏  
アマリリス乙女の恋は真紅

野村 鈴子  
長尾 冴子  
桑野 昌宜  
白石 凡子  
渡邊 一枝  
尾崎 和子  
藤井耿之介  
杉 フジエ  
倉石嘉代子  
木村 誠一

ともしび短歌会短歌詠草

眼に良きと育てしブルーベリーの実小鳥が先に味見をしたり  
濡るため咲きしや紫陽花日もすがら雨に打たれて藍の清しき  
鈴を束ねうち振るごとく轉りて子雀庭の樹木に群がる  
妹が蓮華の花の首飾り掛けてくれしは幻ならむ  
夏が来る戦後六十四年お心の傷の蘇りきて

加治 智子  
三村 和子  
白石 信子  
福田 昌  
越智 早苗